

科目名	生涯スポーツ実技				担当	堤 裕美・渡邊 真也		
形態	実技	単位数	1	開講時期	2年後期	実務経験	健康運動指導士として実務経験有（渡邊）	
必修	(幼) 卒業：必修 幼免：必修 保育士：必修 レク：必修				ナンバリング	KG104	DPとの関連	(幼) 1 (総) 6
授業概要	スポーツを通して身体・精神・社会参加への知識を習得。生涯にわたり楽しくスポーツと関わる事の重要性と健康への意識を高める。							
到達目標 学習成果	生涯を通してスポーツする目的意識をもち（心身共に健康維持・向上、コミュニケーションの場）必要性を理解し知識を習得する。							
授業計画	回	内容						
	1	ガイダンス	生涯を通じてスポーツを楽しむために大切にしたいことを確認する					
	2	バレーボール①	・毎時レクリエーション活動を用いたストレッチと筋トレを実施する					
	3	バレーボール②						
	4	バレーボール③						
	5	バレーボール④						
	6	バスケットボール①	・それぞれのスポーツについて、 ・基本ルールと審判法の確認 ・生涯スポーツとして継続的に実践可能なオリジナルルールの考案 ・幼児が遊びとしてスキルを習得できるオリジナルルールの考案					
	7	バスケットボール②						
	8	バスケットボール③						
	9	バスケットボール④						
	10	バドミントン①	を視野に入れて、導入としてのゲームから正式なルールでのゲームまでを通して、基本技術の習得を目指すとともにゲームの楽しみ方を広げる ・ゲームでは、仲間同士の個性を活かし合い楽しむ為に作戦を立て、観戦するチームからの視点も活かす					
	11	バドミントン②						
	12	バドミントン③						
	13	バドミントン④						
	14	卓球 / フットサル						
	15	卓球 / フットサル						
評価基準	・生涯スポーツについて積極的に理解し、他者との協調性を図ることができるかで判断							
評価方法	授業態度 50%（出席カードへの記入、授業準備等への関わり等） レポート 50%							
フィードバック 方法	出席カードへの記入内容を毎時確認し、返却する							
アクティブ ラーニング	授業準備及び片付け、授業改善などを学生とともにやる							
教科書	必要に応じて資料を授業内で適宜配布する							
参考書	特になし							
履修条件	スポーツを通して人との関わり、目的、意義を考える							
授業外学習	事前学習：日頃から活動的な生活を心がけ、生活リズムを整えることで、授業に積極的に参加できる準備をすること 事後学習：授業後の身体に起こる変化に対し敏感になり、自身の身体のコンディショニングを心がけること							
オフィスアワー	学生支援課の掲示板に掲示する							